

Ⅲ 公営企業の業務状況

1 モーターボート競走事業の業務状況

(1) 事業の概要

滋賀県では、県が実施する施策に必要な財源を確保することを目的として、モーターボート競走法に基づいて、モーターボート競走事業を実施しています。

平成29年度からは、地方公営企業法の一部を適用し、公営企業として実施しています。

事 項	内 容
名 称	琵琶湖モーターボート競走場
初 開 催	昭和27年7月
開 催 日 数	年間12回開催 186日

○事業の実施状況

令和3年度下半期の入場者数は87,171人で、前年度下半期に比べ6,594人、8.2%の増加となったことに加え、電話・インターネット投票の売上が好調であったことから、舟券売上額は増加しました。

なお、下半期のグレードごとの開催状況は、次のとおりです。

グレード	開催節数・日数				入場者数(人)		利用者数(人)		舟券売上額(千円)	
	令和2年度		令和3年度		令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度
上半期合計	17節	98日	17節	100日	40,980	95,468	7,001,368	7,549,915	38,804,707	34,640,470
GI	-	-	2節	12日	-	17,866	-	1,800,565	-	12,454,966
GII	1節	6日	1節	6日	6,867	7,096	742,248	804,303	4,158,833	4,493,777
GIII	1節	6日	2節	12日	5,048	11,630	512,802	1,280,472	1,953,998	5,673,361
一般戦	13節	76日	10節	56日	68,662	50,579	5,121,964	3,816,754	22,613,840	14,977,915
下半期分	15節	88日	15節	86日	80,577	87,171	6,377,014	7,702,094	28,726,671	37,600,019
合計	32節	186日	32節	186日	121,557	182,639	13,378,382	15,252,009	67,531,378	72,240,489
一日平均	-	-	-	-	921	982	71,927	82,000	363,072	388,390

(注) 令和2年度入場者数の一日平均は、無観客開催の日数(54日)を除いて算定しています。

最近5カ年の一般会計への繰出金の状況は次のとおりで、令和4年度当初予算においては10億円の繰出金を予定しています。

平成29年度	4億円	令和2年度	10億円
平成30年度	4億円	令和3年度	40億円
令和元年度	4億円	(うち、令和2年度分利益処分10億円)	

○建設改良事業の状況

令和3年度下半期は、令和4年2月に発走用ピットおよび危険信号灯・航走指示灯更新工事を実施しました。

(2) 経理の状況

○予算の補正の状況

令和3年9月定例会議、令和3年11月定例会議および令和4年2月定例会議において、開催収益の増加等により事業収益を計23,827,910千円、売上金の増加に伴い払戻金が増加したこと等により事業費用を計22,069,169千円それぞれ増額補正しました。また、令和3年11月定例会議および令和4年2月定例会議において、資本的支出を計1,454,430千円増額補正し、令和4年2月定例会議において、資本的収入を13,263千円減額補正しました。

○令和3年度予算の執行状況

令和3年4月1日から令和4年3月31日までの予算の執行状況は、次のとおりです。

●収益的収支

(単位 千円)

科 目	当初予算額	前年度からの繰越(財源充当)額	補正予算額	予算現額(A)	執行額(B)	(B)/(A)%
モーターボート競走事業収益	51,674,100	—	23,827,910	75,502,010	75,460,972	99.9
営業収益	51,292,785	—	23,794,627	75,087,412	75,047,088	99.9
営業外収益	60,528	—	3,228	63,756	62,618	98.2
特別利益	320,787	—	30,055	350,842	351,266	100.1
モーターボート競走事業費用	51,109,000	—	22,069,169	73,178,169	72,635,137	99.3
営業費用	50,440,736	—	19,693,531	70,134,267	69,595,089	99.2
営業外費用	668,264	—	2,375,638	3,043,902	3,040,048	99.9

●資本的収支

(単位 千円)

科 目	当初予算額	前年度からの繰越(財源充当)額	補正予算額	予算現額(A)	執行額(B)	(B)/(A)%
資本的収入	43,500	—	△ 13,263	30,237	29,813	98.6
資本的支出	1,124,300	—	1,454,430	2,578,730	2,561,846	99.3
建設改良費	495,530	—	△ 295,005	200,525	183,642	91.6
企業債償還金	627,549	—	1,748,870	2,376,419	2,376,419	100.0
投資	1,221	—	565	1,786	1,785	99.9

(注) 1 補正予算額は、令和3年9月定例会議、令和3年11月定例会議および令和4年2月定例会議における補正予算額の合計額です。

2 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補填しました。

○企業債の状況

企業債は令和4年1月31日に完済しました。

○決算の状況

①損益収支

電話・インターネット投票の売上増加等により、事業収益は、対前年度比107.7%増加の75,454,248千円、事業費用は、72,628,413千円となりました。この結果、純利益は2,825,835千円となりました。

●比較損益計算書

(単位 千円)

科 目	令和3年度(A)	令和2年度(B)	比 較 増 減	
			(A)－(B)	(A)/(B) %
モーターボート競走事業収益	75,454,248	70,042,023	5,412,225	107.7
営 業 収 益	75,043,086	69,986,541	5,056,545	107.2
営 業 外 収 益	59,896	55,482	4,414	108.0
特 別 利 益	351,266	—	351,266	—
モーターボート競走事業費用	72,628,413	66,038,981	6,589,432	110.0
営 業 費 用	68,591,614	64,061,242	4,530,372	107.1
営 業 外 費 用	4,036,799	1,977,739	2,059,060	204.1
当 年 度 純 利 益	2,825,835	4,003,042	△ 1,177,207	70.6

②財務状況

令和3年度末の総資産は14,687,603千円、負債は1,866,531千円となり、資本は12,821,072千円となりました。

●比較貸借対照表

(単位 千円)

資 産 の 部				負 債 お よ び 資 本 の 部			
科 目	令和3年度	令和2年度	比較増減	科 目	令和3年度	令和2年度	比較増減
固定資産	7,145,041	7,381,074	△ 236,033	固定負債	31,323	2,174,676	△2,143,353
流動資産	7,542,562	7,354,664	187,898	流動負債	1,598,481	1,321,331	277,150
				繰延収益	236,727	244,494	△ 7,767
				負債合計	1,866,531	3,740,501	△1,873,970
				資本金	5,071,151	4,086,444	984,707
				剰余金	7,749,921	6,908,793	841,128
				資本合計	12,821,072	10,995,237	1,825,835
合 計	14,687,603	14,735,738	△ 48,135	合 計	14,687,603	14,735,738	△ 48,135

(3) 令和4年度の事業および予算の概要

本年度は、G Iレースであるびわこ大賞を引き続き開催することに加え、ボートレースバトルチャンピオントーナメント（PG I）や秩父宮妃記念杯（G II）の開催により、618億円の売上を見込んでいます。

また、電話投票会員の満足度を向上させ、売上の拡大を図ります。

○令和4年度当初予算の概要

●収益的収支

(単位 千円)

款	項	金額
モーターボート競走事業収益		65,529,600
	営業収益	65,470,049
	営業外収益	59,551
モーターボート競走事業費用		64,450,100
	営業費用	63,164,136
	営業外費用	1,097,939
	特別損失	188,025

●資本的収支

(単位 千円)

款	項	金額
資本的収入		181,300
	基金繰入金	181,300
資本的支出		1,024,600
	建設改良費	1,023,899
	投資	701

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補填します。